

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立村所小学校（宮崎県）

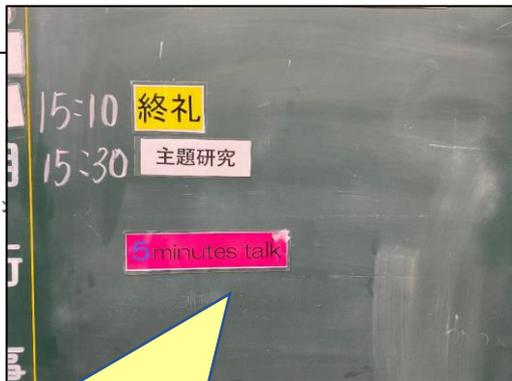
## 【取組内容④】 協働的な学び合いにするための校内研修・小中合同研修の在り方

### 学びの連続性、継続性をもたせるための工夫

### 校内研修の工夫と実践2

#### OJTの活性化

- 本日のねらいについて
- 研修内容
  - 本校のICT活用について  
【教師用】職員室PC、教師用TB、教室PC、プリンター  
※パスワード（ ）  
【児童用】学校用TB、家庭用TB  
※パスワード（ ）
  - 情報教育年間指導計画について  
※別資料参照
  - 学習活動ソフトウェア「5minutes talk」
    - 白紙に書き込んで白
    - マッピング
    - グルーピング
    - フローチャート
    - 画像合成



終礼のたびに「5minutes Talk」  
として、OJTの時間を設定した。

「5ミニッツトーク」で♪

1年目の先生もすぐに授業でICTを活用できるように、4月入ってすぐにICTの操作研修を行った。

また、月曜日、水曜日に行われる終礼の後に「5minutes talk」として、困ったことや活用方法などをお互いに聞きあう時間を設定している。

教師から教師のOJTはもちろんのこと、児童から教師、児童同士のOJTも行われている。児童同士のOJTは、水曜日の昼の活動「ICTの時間」で行われている。

### 「西米良授業チェック表」を活用した教師の授業の振り返り〈抜粋〉

令和5年度 「西米良授業チェック表」

大項目	中項目	小項目
1 単元全体を見通した評価計画のもと、一単位時間の中で「めあて」と「まとめ」の整合性のある指導が行われているか？	(1) 1単位時間の授業の中で評価	① 「何を」、「どこで」、「どのように」評価するか、計画どおりにできた。
	(2) 定着や習熟・確かめ・振り返りの時間を十分確保し、個に応じた指導を工夫できた。	② 一人一人の評価（見届け）ができた。本時の目標を達成できた（ ）人。 ③ 定着や習熟・確かめ・振り返りの時間を十分確保し、個に応じた指導を工夫できた。
	(3) めあてとまとめの整合性ある指導が行われる	④ 振り返りで、自己の成長を振り返り（自覚）、新たな学びに向かわせることができた。 ⑤ 本時の目標に対して、子どもの言葉を用いて、整合性のあるめあてとまとめを立てることができた。
2 指導の内容が精選されており、テンポや間に配慮して授業を進めているか？	(1) 指導内容の精選	⑥ 単元あるいは1単位時間の中で、「しっかり教える内容」と「じっくり考えさせる内容」を意識して指導できた。
	(2) テンポや間の配慮	⑦ ICTの活用を図るなど、テンポよく進め、時間短縮を図った。
3 授業の内容は子供の実態にマッチしているか？（平均をやや下回る子供も理解できる内容か？）		⑧ 思考ツールを活用するなど、協働的に学習するための手立てを図った。
		⑨ 対話的な学びをすることで、子どもの考えを広げたり深めたりすることができた。
4 教師の指示や発問は的確で、子供に伝わっているか？		⑩ 指示が的確で、子供に伝わった。（言葉を選ぶ、声の大きさ、速さ、抑揚など）

教室の机の上など見えるところに貼って、いつでも自分の授業をチェックできるようにしている。

また、定期的に、Google Formsを活用して、全体で共通理解することで、日々の授業改善に努めている。